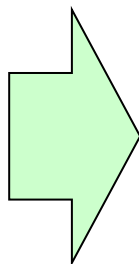


事業活動のマテリアルバランス

INPUTの項目	INPUTの数値
電力	8,099千kwh
都市ガス	15千m ³
水道	23千m ³
ガソリン・軽油	197千リットル



OUTPUTの項目	OUTPUTの数値
CO ₂	3,776t-CO ₂
産業廃棄物	216t
一般廃棄物	127t
排水	23千m ³

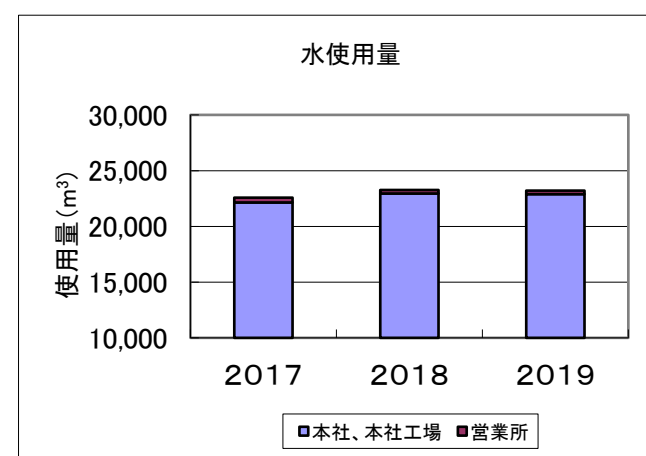
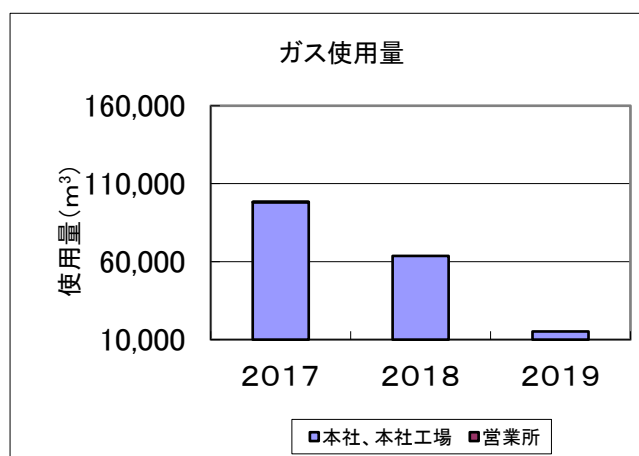
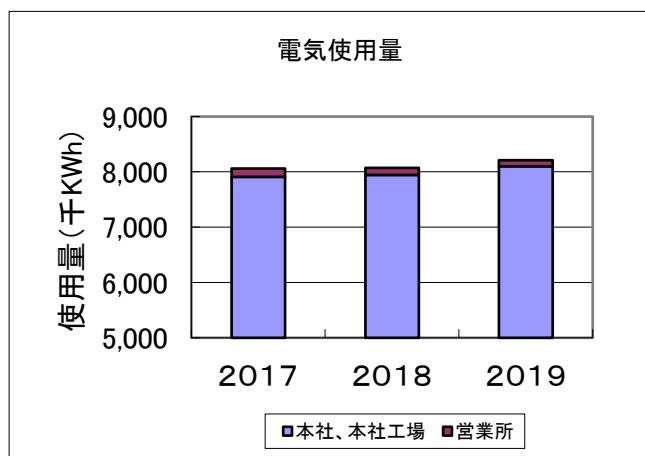
事業活動に伴って発生する環境負荷については、正しく把握すると共に、利用するエネルギーや資源を無駄にしないよう努めています。

※ このデータは2019年度本社及び本社工場ならびに営業所(東京、大阪、福岡)です。

※CO₂排出量には、環境省「温室効果ガス排出量の算定方法」代替値を使用した。

グローバル環境報告書(1)

		単位	2017	2018	2019
電気	本社、本社工場	千kWh	7,909	7,945	8,099
	営業所	千kWh	150	124	113
ガス	本社、本社工場	m ³	98,195	63,619	15,181
	営業所	m ³	3	0	0
水道	本社、本社工場	m ³	22,156	22,960	22,904
	営業所	m ³	421	296	292



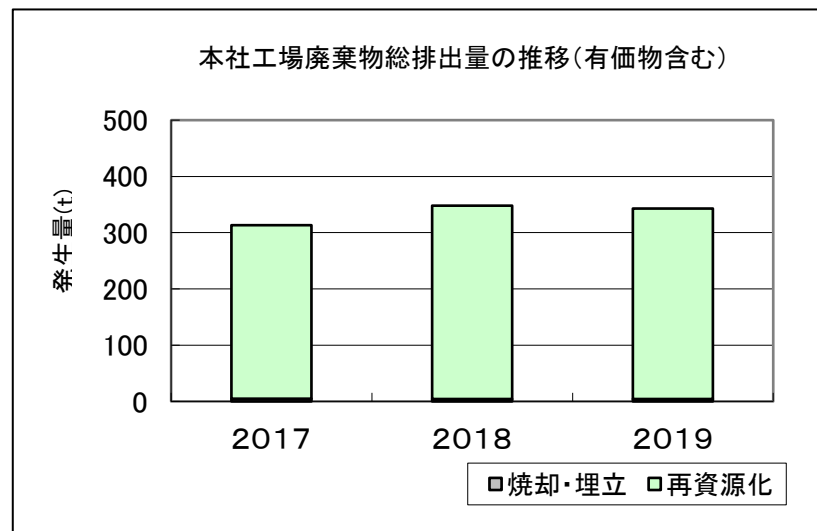
グローバル環境報告書(2)

本社工場 廃棄物総排出量の推移(有価物含む)

(単位:t)

	2017	2018	2019
焼却・埋立	5	4	4
再資源化	308	344	339
再資源化率	98%	99%	99%

2003年度から単純焼却・単純埋立を限りなくゼロにすることを目標として『ゼロエミッションへの取り組み』を実施してまいりました。そして廃棄物の発生抑制や再資源化の委託先調査などを行った結果、2005年度にゼロエミッションを達成し、現在も維持しております。



<ゼロエミッションの定義>

製造工程から発生する廃棄物の再資源化率を98%以上とする。

※ このデータは、本社及び本社工場から発生した廃棄物を集計したものです。